

【熱中症の搬送者数】

7.12人/10万人

毎日うだるような暑さが続いて「体がとけそうさあ〜！」が口癖になっている方も多いのではないかな？

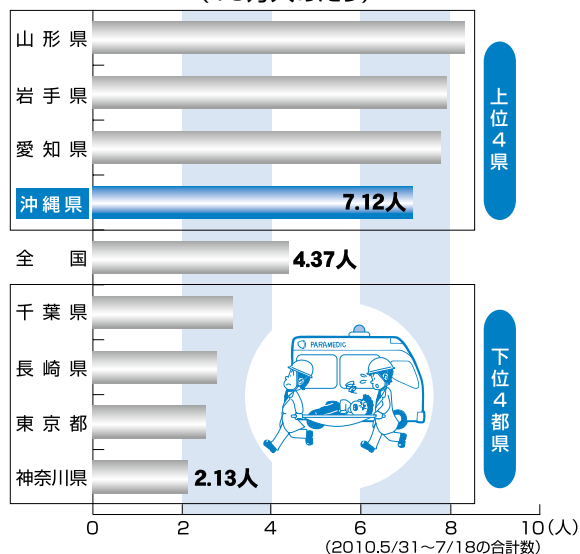
今の時期、気を付けないといけない熱中症。高温多湿の場所で作業をしていると、体温が上がり、頭痛・吐き気・めまいを伴い、症状がひどいと死に至る場合もある。総務省消防庁「熱中症による救急搬送状況（2010年5月31日～7月11日）」によると沖縄県では10万人当たり7.12人が病院へ救急搬送され、全国で4番目に高くなっている。

暑い夏に慣れた“うちな〜んちゅ”でも、炎天下や気密性の高い室内での作業や運動する際には、小まめに休憩し、水分と塩分を取る必要がある。就労中の屋外作業の際に発生することも多いため、職場での予防対策が必要だ。

一人ひとりが日ごろから健康管理と熱中症対策に気を配り、暑い夏を乗り切りたいものだ。

(海邦総研人材開発部／安田ひろみ)

熱中症の搬送者数
(10万人あたり)



【合計特殊出生率】

1.79人

合計特殊出生率とは、女性が出産可能な年齢を15歳から49歳までと規定し、年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が一生に産む子供の数を示すといわれている。

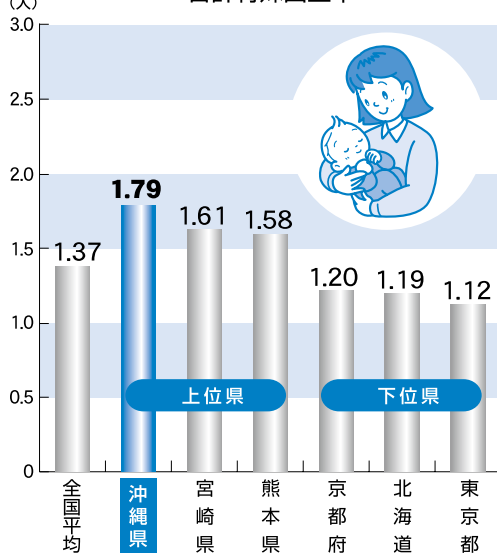
厚生労働省「2009年人口動態統計概況」によると、沖縄県が最も高く1.79人。最も低いのが東京都の1.12人で、全国平均は1.37人である。ちなみに上位3位は九州勢で占めている。第1次ベビーブームの頃は4.5人以上の高い値を示していたが、減少し続けて05年には1.26人にまで減少した。

合計特殊出生率の高さは、将来的な人口の自然増を示し、低さは将来的な少子化傾向を示すことになる。

子ども手当の増額が始まるなど少子化問題は全国的な課題となっている。合計特殊出生率の高さは沖縄の未来の明るさを予見する一つの材料なのかもしれない。

(海邦総研会員事業部／照屋昇憲)

合計特殊出生率



【生コン製造業の従事率】

4.0%

近年の都市計画の進行により、道路は整備され、商業施設なども増えている沖縄。影響もあるのか道路や建築物に必要な生コンクリートの業界に従事する人の割合も高いようだ。

経済産業省「2008年工業統計調査」によると、沖縄県の生コンクリート製造業に従事する人は1012人で、全製造業従事者に占める割合は4.0%で全国トップだ。

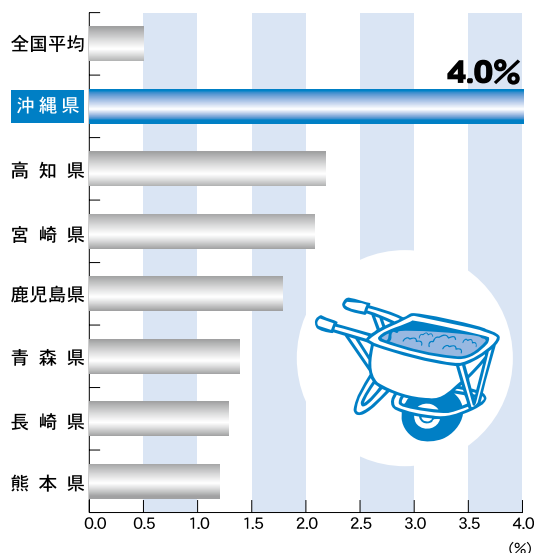
ちなみに県内製造業別の出荷額でも生コンクリートはトップだが、年々出荷額は減っており、公共工事の減少も関係しているようだ。

生コンクリートは製造から90分以内に使用しなければならない特性があり、生コン車での運搬・荷卸しは時間との戦いだという。

経営環境は厳しいだろうが、改善努力により、高品質な生コンクリートを安定的に供給し続けてほしい。

(海邦総研事業支援部／比嘉明彦)

生コンクリート製造業に従事する人の割合
(2008年)



【介護サービス費用額】

20万9500円/月

介護保険がスタートして10年。2009年に全国で介護予防・介護サービスを利用した人は、過去最多の約469万人。介護費用は約7.6兆円に達した。県内の利用状況はどうだろう。

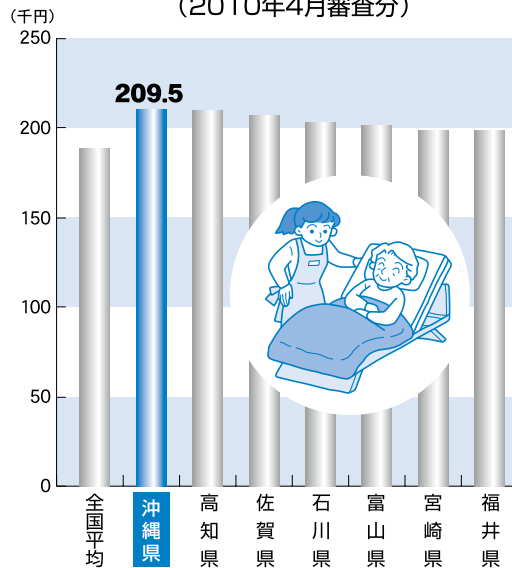
厚生労働省「2009年度介護給付費実態調査」によると、沖縄県の介護サービス利用者の一人当たり費用額は、20万9500円/月と全国一になった。

介護サービスには、訪問介護などの居宅サービスと特養老人ホームなどの施設サービス、06年に創設された地域密着型サービスがある。沖縄は居宅サービスの利用率、費用額がともに高い。介護認定者が増加する中、財源の逼迫から介護施設の定員数はそれほど増えていない。施設に入所できない要介護者が、居宅サービスの利用率を高めているのか。

介護保険料も高い沖縄。介護費用の適正化は必要であるが、安心できる介護保険体制の整備が求められる。

(海邦総研事業支援部/金城智裕)

介護サービス利用者1人当たり費用額
(2010年4月審査分)



【200人以上規模の結婚式】

1605件

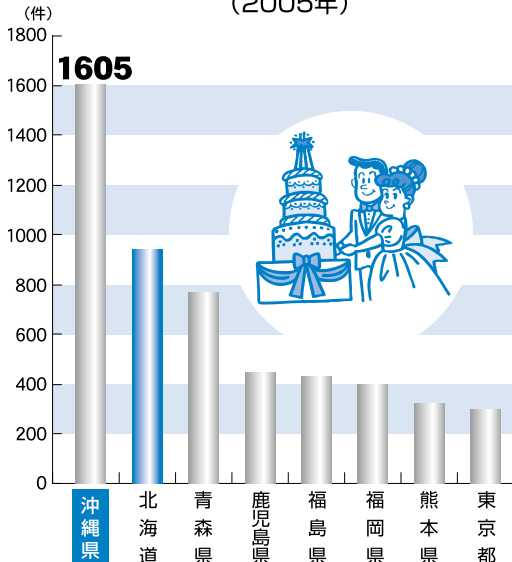
招待客が多いことで有名な沖縄の結婚式。100人くらいは当たり前、200人、300人規模の結婚式もよくみられる。新郎新婦の職場関係、小中高および大学の同窓生、親せき一同、さらに両親の友人を呼ぶということも多いだろう。人間関係が密接な地域に至っては近所の人も・・・。

経済産業省「平成17年特定サービス産業実態調査報告書」によると、沖縄県における200人以上規模の結婚式の件数は1605件。ダントツの全国1位だ。全国総数は7951件なので、その約2割を沖縄が占めている計算になる。ちなみに300人以上の式は、593件となっている。

招待する人の数が多いこともあり、部屋を分けたり、昼と夜の部に分けて開催するカップルもいるとか。みんなで喜びを分かち合いつつ、きずなを確かめ合うのが沖縄流？

(海邦総研経営企画部/新里治史)

結婚式件数(規模200人以上)
(2005年)



おきなわデータ算歩 けーざい100

「データ算歩」は県内でよく話題になる事柄を具体的に数字で裏付けて紹介しようと試みたもので、経済・数字の世界をまさに算(散)歩感覚で楽しみましょうという内容です。

「食生活」「生活・消費」「産業」「住環境」など八項目に分類。漫画やグラフを使い、見開き2ページで1項目を説明しています。アイスクリームやビールの購入額が全国一低いなど意外と思える数字も紹介。読みたい項目から読めるよう工夫しています。

沖縄県内各書店やインターネットでもご購入いただけます。沖縄けーざいを易しく知りたい、興味のある、という方に特にお勧め!

<http://www.kaiho-ri.jp>